

科目名	経営組織論（ミクロ）		
英語科目	ナンバリング	BBman201 Bsto203	
開講期	春学期	開講学部等	経営学部
教員名	シン ハヨン	配当年次	2年次
		単位数	2単位

授業概要／Course outline

私たちは常日頃から多様な「組織」に囲まれ、大なり小なりの集団や組織に属しています。この授業では、経営組織の人的要素に焦点をあてた研究領域のひとつであり、組織の中の人間行動を扱う組織行動論（ミクロ組織論）の基本的な概念について扱います。

組織行動論の領域において検討されてきた知見は、皆さん自身が組織に属したときに直面しうる課題とも深く関連します。組織行動論の理論を学ぶことで、身近な疑問に答えていくうえでのヒントになることが期待されます。

授業前半部では組織の中に属する個人そのものに焦点をあてたトピックである、個人の意思決定やパーソナリティ、モチベーションなどについて、後半では、個人の集合によって構成される様々な集団に目を向け、集団をどのようにマネジメントするかという問いに焦点をあてたトピックを中心に扱います。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：クリッカー、タブレット端末、スマートフォン等を活用した双方向型授業）
- 学修支援ツール（Moodle）を利用した理解度確認用の小テストやアンケートを授業中に併用します（スマートフォンやタブレット端末を用意することが望ましい）。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 ミクロ組織論（組織行動論）とは何か—組織の中の個人を理解するとは

第2回 組織の中の個人①：パーソナリティと価値観

組織を構成するのは、ひとりひとりの個人でもあります。私たちそれぞれの個性として存在する、性格特性や価値観の種類、特徴について理解します。

第3回 組織の中の個人②：個人の意思決定とバイアス

個人の意思決定プロセスにはどういった過程が含まれるのかについて学び、認知バイアスなどによって意思決定の歪みが生じる可能性や、それによる課題について理解します。

第4回 動機づけ①（古典的モチベーション理論）

働く人の動機づけについて、「人は何に動機づけられるか」を重視した理論を中心に学びます。

第5回 動機づけ②（モチベーションとインセンティブの仕組み）

働く人の動機づけについて、「人はどのように動機づけられるか」を重視した理論を中心に学び、「どのように働きかけるべきか」と関連するインセンティブ設計の考え方について理解します。

第6回 組織における評価の仕組み（インセンティブ設計）

実際の組織で導入されている代表的な人事評価制度や処遇制度について学び、第4・5回で学んだモチベーション理論の知見がどのように取り入れられているかについて理解します。

第7回 集団行動の基礎とチームの理解

個人が集まることで構成される集団ならではの力学や凝集性などを学び、チームの力を上手く活用するために必要な要素について考察します。

第8回 中間試験

中間試験（45分）およびこれまでの授業内容を振り返ります（45分）。

第9回 集団のマネジメント①：伝統的なリーダーシップ

組織の中のリーダー行動に関する伝統的な理論（特性理論・内容理論・コンティンジェンシー理論）を中心に学びます。

第10回 集団のマネジメント②：新しいリーダーシップ論とフォロワーシップ

組織の中のリーダー行動に関する比較的最近提唱され始めた理論について概説し、リーダーだけでなくリーダーについていく人々（＝フォロワー）視点にもとづいた考え方について学びます。

第11回 集団内におけるパワー

集団の力学やパワーの源泉を中心に学び、パワーにまつわる課題について理解します。

第12回 交渉とコンフリクト

複数の多様な個人が集まっている以上、一定の揉め事や意見の相違は避けて通れません。組織におけるコンフリクトの特徴について理解し、これらを解消するための方策や、逆に活用する道について学びます。

第13回 組織文化とコミットメント

働く人が組織に対して持つ愛着（組織コミットメント）や、組織内のメンバー同士で共有されている思考様式（組織文化）について学び、それを活かしたマネジメントについて理解します。

第14回 ダイバーシティとインクルージョン

組織内の多様性と、これを包摂する組織風土について理解します。

第15回 授業の振り返りと期末試験

期末試験（60分）およびこれまでの授業内容を振り返ります（30分）。

なお、進捗状況や履修人数、履修生の関心によっては、授業計画（内容や順番）に若干の変更がある可能性があります。

準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

授業に臨むにあたり、十分な予習復習（各授業4時間程度）が求められます。具体的には、2時間の授業に対し事前・事後学習が4時間以上必要となります。

事前に講義資料や参考図書などに目を通し、理解しにくい部分をチェックしておくことが期待されます。また、授業後には扱われた内容を振り返り、復習するようにしてください。

第1回 ミクロ組織論（組織行動論）とは何か—組織の中の個人を理解するとは

（事前学習）あらかじめパワーポイントの資料に目を通してから各回の授業に取り組むこと。また、各回の講義のテーマに関する文献や参考図書を必要に応じて適宜参照し、キーワードについて調べておく。

（事後学習）講義資料を見直し、授業内容のポイントを復習すること。

第2回 組織の中の個人①：パーソナリティと価値観

（事前学習）あらかじめパワーポイントの資料に目を通してから各回の授業に取り組むこと。また、各回の講義のテーマに関する文献や参考図書を必要に応じて適宜参照し、キーワードについて調べておく。

（事後学習）講義資料を見直し、授業内容のポイントを復習すること。

第3回 組織の中の個人②：個人の意思決定とバイアス

（事前学習）あらかじめパワーポイントの資料に目を通してから各回の授業に取り組むこと。また、各回の講義のテーマに関する文献や参考図書を必要に応じて適宜参照し、キーワードについて調べておく。

（事後学習）講義資料を見直し、授業内容のポイントを復習すること。

第4回 動機づけ①（古典的モチベーション理論）

（事前学習）あらかじめパワーポイントの資料に目を通してから各回の授業に取り組むこと。また、各回の講義のテーマに関する文献や参考図書を必要に応じて適宜参照し、キーワードについて調べておく。

（事後学習）講義資料を見直し、授業内容のポイントを復習すること。

第5回 動機づけ②（モチベーションとインセンティブ）

（事前学習）あらかじめパワーポイントの資料に目を通してから各回の授業に取り組むこと。また、各回の講義のテーマに関する文献や参考図書を必要に応じて適宜参照し、キーワードについて調べておく。

（事後学習）講義資料を見直し、授業内容のポイントを復習すること。

第6回 組織における評価の仕組み（インセンティブ設計）

（事前学習）あらかじめパワーポイントの資料に目を通してから各回の授業に取り組むこと。また、各回の講義のテーマに関する文献や参考図書を必要に応じて適宜参照し、キーワードについて調べておく。

（事後学習）講義資料を見直し、授業内容のポイントを復習すること。

第7回 集団行動の基礎とチームの理解

(事前学習) あらかじめパワーポイントの資料に目を通してから各回の授業に取り組むこと。また、各回の講義のテーマに関する文献や参考図書を必要に応じて適宜参照し、キーワードについて調べておく。

(事後学習) 講義資料を見直し、授業内容のポイントを復習すること。

第8回 中間試験

(事前学習) これまでの授業内容を振り返り、授業全体を通して気になった点や疑問点についてまとめておくこと。授業全体について内容を復習し、試験準備をすること。

(事後学習) ミクロ組織論(組織行動論)の理論知見を、自分の身の回りや将来直面することが予想される課題にどう適用できるかについて考えてみる。

第9回 集団のマネジメント①: 伝統的なリーダーシップ

(事前学習) あらかじめパワーポイントの資料に目を通してから各回の授業に取り組むこと。また、各回の講義のテーマに関する文献や参考図書を必要に応じて適宜参照し、キーワードについて調べておく。

(事後学習) 講義資料を見直し、授業内容のポイントを復習すること。

第10回 集団のマネジメント②: 新しいリーダーシップ論とフォロワーシップ

(事前学習) あらかじめパワーポイントの資料に目を通してから各回の授業に取り組むこと。また、各回の講義のテーマに関する文献や参考図書を必要に応じて適宜参照し、キーワードについて調べておく。

(事後学習) 講義資料を見直し、授業内容のポイントを復習すること。

第11回 集団内におけるパワー

(事前学習) あらかじめパワーポイントの資料に目を通してから各回の授業に取り組むこと。また、各回の講義のテーマに関する文献や参考図書を必要に応じて適宜参照し、キーワードについて調べておく。

(事後学習) 講義資料を見直し、授業内容のポイントを復習すること。

第12回 組織文化とコミットメント

(事前学習) あらかじめパワーポイントの資料に目を通してから各回の授業に取り組むこと。また、各回の講義のテーマに関する文献や参考図書を必要に応じて適宜参照し、キーワードについて調べておく。

(事後学習) 講義資料を見直し、授業内容のポイントを復習すること。

第13回 交渉とコンフリクト

(事前学習) あらかじめパワーポイントの資料に目を通してから各回の授業に取り組むこと。また、各回の講義のテーマに関する文献や参考図書を必要に応じて適宜参照し、キーワードについて調べておく。

(事後学習) 講義資料を見直し、授業内容のポイントを復習すること。

第14回 ダイバーシティとインクルージョン

(事前学習) あらかじめパワーポイントの資料に目を通してから各回の授業に取り組むこと。また、各回の講義のテーマに関する文献や参考図書を必要に応じて適宜参照し、キーワードについて調べておく。

(事後学習) 講義資料を見直し、授業内容のポイントを復習すること。

第15回 授業の振り返りと期末試験

(事前学習) これまでの授業内容を振り返り、授業全体を通して気になった点や疑問点についてまとめておくこと。授業全体について内容を復習し、試験準備をすること。

(事後学習) ミクロ組織論(組織行動論)の理論知見を、自分の身の回りや将来直面することが予想される課題にどう適用できるかについて考えてみる。

授業の到達目標/Expected outcome

この授業で扱うトピックは、みなさんが今後一従業員として体験するだけでなく、ミドル・トップマネージャーとしてマネジメント上の意思決定を行ううえでも重要となる内容を含んでいます。この授業を通じて、組織構成員の行動や構成員間の相互作用にまつわる知見を学び、実生活に応用できることを目標としています。

具体的な到達目標は次のとおりです。

- ・組織行動論の主要概念や因果関係について理解し、他者に説明できる。
- ・学んだ知見を企業で行われている取り組みや身近な事象にあてはめて説明できる。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

・思考力

・幅広い教養

・倫理性

専門知識・専門技能

【経営学部 マネジメント学科】

・戦略と組織の基本知識

・基礎的なマネジメント力

履修上の注意／Special notes, cautions

・シラバスならびにオリエンテーション資料に記載されている「授業計画や履修上のルール」などについて、よく確認したうえで履修するかどうかを決めてください。

・受講態度（私語など）が目には余ると教員が判断した場合は減点や退室の対象となります。

・教員からの連絡事項（休講・補講・課題や試験情報など）はすべてMoodle上に記載されます。各自で確認してください。

・講義資料は、講義開始までにMoodleから各自ダウンロードしてください。

・本科目の履修者は、経営学に関する基本的な知識を有していることを前提としています。

・授業計画や授業内容の詳細は、授業の進捗状況に合わせて一部修正する可能性があります。

評価方法／Evaluation

成績評価は、下記項目にもとづいて総合的に評価します（相対評価を併用します）。

評価項目の詳細については、初回授業でも案内しますので、必ず出席して確認してください。

授業内小テスト（20%）

中間試験（30%）

期末試験（50%）

中間試験あるいは期末試験を受験しなかった場合は、学修を棄権したものと評価します（この場合、成績評価はKとなります）。

教材／Text and materials

パワーポイント資料をメインとし、以下の参考図書を併用します。なお、参考図書については、購入するかどうかは各自で判断してかまいません。

参考書

1) 『組織行動のマネジメント』（スティーブン・ロビンス著），ダイヤモンド社，2009年。

2) 『組織行動—組織の中の人間行動を探る』（鈴木竜太・服部泰宏著），有斐閣ストウディア，2019年。

3) 『組織行動論（ベーシック+）』（開本浩矢 編著），中央経済社，2019年。

質問や相談の方法／Instructor contact

質問は授業後あるいはメール相談にて受け付けます。面談を希望する場合は、必ず事前にメールでアポイントメントをとってください。

連絡先については、初回授業のオリエンテーション時にアナウンスします。